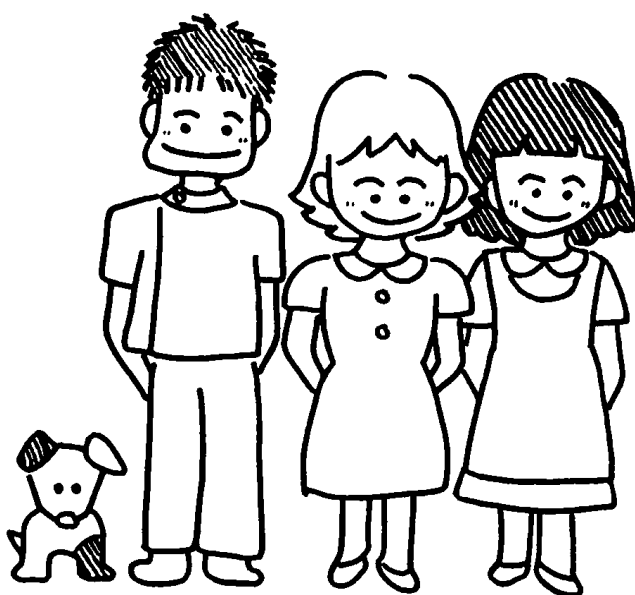


Patient から Person へ

医療の本質はやさしさです。



〒003-8585 札幌市白石区東札幌3条3丁目7-35

電話: 011(812)2311(代表)

Fax: 011(823)9552

E-mail: info@hsh.or.jp

<http://www.hsh.or.jp>

看護職員募集要項

1. 沿革

昭和 58 年 4 月	開設（109 床） 内科・消化器科
その後 145 床・170 床と増床し	
昭和 63 年 2 月	外科病棟・緩和ケア病棟増設（251 床）
平成 10 年 10 月	無菌室設置に伴い 243 床に減床
17 年 9 月	病院機能評価認定
18 年 4 月	白石区在宅介護支援センター東札幌 →白石区第2地域包括支援センターへ変更（院外事務所）
19 年 7 月	病院機能評価（緩和ケア）認定
21 年 7 月	新棟増設
21 年 8 月	MR I、リニアック設置
21 年 9 月	緩和ケア病棟入院基本料届出 58 床
21 年 9 月	専門病院 10 対 1 入院基本料（悪性腫瘍に係る）届出
22 年 3 月	専門病院 7 対 1 入院基本料（悪性腫瘍に係る）届出
22 年 9 月	病院機能評価更新認定
27 年 9 月	病院機能評価更新認定
28 年 5 月	在宅療養支援診療所ヘルスケアクリニック光開設
29 年 6 月	第2回がん緩和ケアに関する国際会議主催
31 年 1 月	全人病院（韓国）教育・研修に係る協定書調印
令和 3 年 4 月	包括的治療センター（内科系、外科系）開設 脳神経内科、腫瘍内科、血液内科、緩和ケア内科 緩和ケア外科、乳腺外科、内分泌外科 標榜
4 年 4 月	北海道がん診療連携指定病院 認定
5 年 4 月	頭頸部外科 標榜

2. 概要

◇理事長	石谷 邦彦
◇副理事長	佐藤 昇志
◇病院長	日下部 俊朗
◇副院長	大村 東生、長岡 康裕、信岡 隆幸、大串 祐美子
◇看護部長	大串 祐美子
◇診療科目内科	内科、腫瘍内科、血液内科、緩和ケア内科、消化器内科、 循環器内科、呼吸器内科、心療内科、脳神経内科、放射線科、 消化器外科、乳腺・内分泌外科、緩和ケア外科、整形外科、 頭頸部外科、歯科・歯科口腔外科、麻酔科
◇病床数	243 床（内 緩和ケア病棟 58 床）
◇職員数	約 350 名
◇入院基本料	専門病院 7 対 1 入院基本料（悪性腫瘍に係る） 緩和ケア病棟入院料 1
◇病棟勤務体制	2 交替

3. 勤務体制

◇勤務時間	日勤 8：30～17：00 夜勤 16：30～ 9：00（仮眠 2 時間）
◇休日・休暇	令和 5 年度 年間休日 121 日 特別休暇、有給休暇あり

4. 福利厚生

- ◇健康保険・厚生年金・雇用保険・厚生年金基金
- ◇貸与支給品 ユニフォーム・ナースシューズ
- ◇教育・研修 院内・院外研修制度・学会等研修プログラムは豊富

5. 待遇

- ◇基本給 当院規定による 令和6年度初任給実績
4年制大学卒 256,200円（基本給＋夜勤手当4回含む）
短大3年及び看護学校3年卒
251,200円（基本給＋夜勤手当4回含む）
- ◇諸手当 住宅手当・夜勤手当・通勤手当・看護職員処遇改善手当
- ◇賞与・他 夏期賞与（6月）・冬期賞与（12月）
退職金制度

《応募方法》

下記の書類を当院看護部宛に送付して下さい。

- ◇履歴書に自筆、写真貼付
- ◇免許書の写し
（但し、新卒者の場合、卒業証明書又は卒業見込み証明書及び成績証明書）
- ◇健康診断書

項目：既往歴、自覚症状及び他覚症状の有無、身長、体重、腹囲、視力、聴力、胸部エックス線、血圧、尿検査（蛋白、糖）、貧血検査（赤血球数、血色素量）、肝機能検査（GOT、GPT、 γ -GTP）血中脂質検査（HDL コレステロール、LDL コレステロール、血清トリグリセライド）、血糖、心電図

※以下の項目は、採用時健康診断（採用日前 3 カ月以内）の時にご提出ください。

麻疹抗体価（PA 法または EIA 法-IgG）、風疹抗体価（HI 法または EIA 法-IgG）、水痘抗体価（EIA 法-IgG）、ムンプス抗体価（EIA 法-IgG）、T-スポット

過去の検査結果でも良いが、病院で発行された検査結果表もしくは診断書であること

《採用試験》

- ◇試験内容 面接・筆記試験
- ◇試験日 応募者にはおって詳細を連絡致します。
- ◇応募締切 随時

《問い合わせ先》

医療法人 東札幌病院 看護部

〒003-8585 札幌市白石区東札幌3条3丁目7-35

TEL (011) 812-2311（代表）

医療法人東札幌病院は地域に密着したケアを提供することを目的として 1983 年に設立されました。緩和ケアは全国の実績をもっており、現在は在宅死を希望される方も看取れるように併設されている訪問看護ステーション東札幌との連携もはかられています。

また、厚別老人保健施設ディ・グリーネン、訪問看護ステーションみずほとも、交流があります。看護部はひとりひとりの患者さんを苦痛や辛さを我慢する人（Patient）ではなく、かけがえのない人（Person）として尊重しケアしていくことを目標にかかげています。

■看護の専門性の探求

● 専門看護委員会

専門的知識・技術を探求する場として現在6つの委員会が活動
（緩和ケア、高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア、スキンケア
化学療法、糖尿病、感染管理）

● エキスパートの活躍

がん看護専門看護師、緩和ケア認定看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師、
化学療法認定看護師、感染管理認定看護師が臨床で活躍中

● 緩和ケア

研修生を全国から受け入れています。

■卒後教育の充実

年間を通じて、教育・研修プログラムが開かれています。

院内・外での研修を積極的に支援しています。

新卒者には1年間プリセプター制度があります。

■チーム医療の実践

患者・家族を中心として、他職種、他施設、ボランティアと連携を図りながらチームとしての医療を実践しています。「住民による健康づくり」というコミュニティケアの実現に、チームで取り組んでいます。